

## 京都市自転車安心安全条例成立!



議会の改革と活性化に先駆する公明党京都市会議員団

### 市民のくらしを守る 議員立法

百年を超える京都市の歴史で初めて、「議員立法」が成立しました。

平成22年10月28日、公明党京都市会議員団が提案した「京都市自転車安心安全条例」が、賛成多数で可決されたのです。

「歩くまち・京都」憲章が制定された本年、自転車関係業者や商店街、市民の皆さまから聞き取り調査を行うなど、手づくりで練りあげた努力が実をむすびました。

9月15日の条例提案以来、1ヶ月以上にわたって真摯な議論を重ねた結果、最終本会議の席上、一部修

## 京都市会で初の 議員提案政策条例

### 歩くまち・京都へ前進

正のうえ日本共産党市会議員団と民主・都みらい市会議員団のご賛同をいただいで、可決成立したものです。(条例の目的とポイントは2面に掲載しています)

### 市民のための 政策を目指して

また、現場第一でさまざまな政策課題の最前線を視察。

児童相談所(9月14日)、地下鉄四条駅「Kotochika」(コトチカ)四条(9月30日)、子ども若者総合相談窓口

(10月19日)を訪問し、行動する政策創造集団として、積極的に意見交換を実施しました。



京都市子ども若者総合相談窓口訪問



湯浅 光彦 議員「右京区」

財政健全化を  
すすめよ

湯浅光彦議員は、少子化が進行し人口減少社会に突入した我が国にとつて、国及び地方自治体共にこれからの財政運営は将来世代への負担の先送りを極力なくすることが重要であると主張。

門川市長は、学識経験者など専門家からなる「京都市財政改革有識者会議」で具体的な方針を策定し、持続可能な財政運営に取り組むと明言しました。

自転車走行環境  
整備を急げ

また、歩くまち・京都を推進し、市民のいのちを守るため、自転車走行環境整備とマナー向上への積極的施策を訴え、副市長は「歩行者と自転車が安心安全に通行できるまちづくりに取り組む」と答弁しました。



ペット葬儀社および  
霊園を整備すべき

ペット問題で住民との

市民の目線で

代表  
質問

京都市会定例本会議の代表質問で、公明党市会議員団が市民目線の政策を提言。平成22年5月議会では、5月19日に湯浅光彦議員(右京区)と津田早苗議員(伏見区)が、平成22年9月議会では10月1日に平山賀二議員(西京区)と曾我修議員(伏見区)、そして久保勝信議員(山科区)が質問に立ちました。

トラブルを回避し、悪質業者の参入を未然に防ぐ法整備を急ぐべきと質し、市側も条例制定の必要性について検討していくとの姿勢を示しました。

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 財政健全化に向けた取り組みについて
- 京都市美術館の運営について
- 今後の海外都市とのパートナーシティ提携方針について
- ペット葬儀社および霊園等について
- 自転車走行環境整備について



津田 早苗 議員「伏見区」

乳がん・子宮頸がん  
無料クーポン券を実施

津田早苗議員は、女性特有のがん対策の充実を訴え、国が

予算計上を見送った「乳がん・子宮頸がん無料クーポン券」事業について、京都市は6月下旬に配布するとの答



弁を導きました。門川市長は乳がん検診の土曜や夜間検診の充実を確約。大きな前進となりました。

デジジー教科書  
普及促進について

また、学習障がいのある児童・生徒への支援のため、デジジー教科書の導入を主張。教育長は積極的に導入し活用すると答弁しました。

児童虐待の未然  
防止や早期発見を

痛ましい児童虐待事件が多発しており、未然防止と早期発見のために地

京都市自転車安心安全条例の紹介

2010年10月29日  
公明新聞

商店街や業界団体との意見交換や市民意見(パブリックコメント)の募集を行い、多くの方々の声を反映し、市民のための条例という視点を大切にしました。

条例の目的

- ① 子どもたちや高齢者のいのちを守るために安全な自転車利用の意識向上を図る
- ② 交通安全を確保し、安心安全のまちづくりに貢献する
- ③ 「歩くまち・京都」を推進し、観光客のもてなしに資する

条例のポイント

- ① 自転車損害保険の加入を促進する
- ② 商店街の自転車安全走行への取り組みを支援する
- ③ 市立小中高等学校へ自転車交通安全教育を義務づける(私立学校へは努力義務とする)
- ④ 自転車利用環境の向上を図る



大道議員団長が委員会で答弁



域ぐるみの取り組みが不可欠と論じ、市長は全区・支所に要保護児童対策地域協議会を新設し、第2児童福祉センターの整備や児童相談所充実と共に、きめ細かな家庭支援へのビジョンを示しました。

津田早苗議員のおもな質問項目

- 女性特有のがん対策について
- 学習障がいのある児童等のデジジー教科書導入について
- 待機児童解消の取り組みについて
- 児童虐待の未然防止や早期発見の取り組みについて
- 障がい者の就労支援について



くぼ かつのぶ  
久保勝信 議員「山科区」

女性特有のがん対策強化について

久保勝信議員は、子宮頸がんによる死亡を「ゼロ」に近づけるため、ワクチン接種助成を要望。門川市長は11月議会で補正予算が可決されれば、来年1月に助成すると正式に発表しました。

もうひとつの高齢者問題について

また、「買い物難民」「買い物弱者」と呼ばれる高齢者のため、きめ細かな仕組みづくりと生活交通再編強化などを提言。市長は、高齢者の買い物困



難度調査を実施し、モデル地区の設定のうえ、最新ITを活用した流通システム構築を検討すると答弁。

若者支援を地域発・現場発から

子どもや若者の自立支援について、地域若者サポートターや支援コーディネートターの積極的活用など支援策が地域・現場発となるよう求め、市長から事業推進への力強い決意が述べられました。

久保勝信議員のおもな質問項目

- 女性特有のがん対策強化について
- 高齢者の買い物支援について
- 若者の自立支援について
- 都市農業の取り組みについて
- 生活交通の再編強化について
- 水ビジネスについて



そが まさひろ  
曾我修 議員「伏見区」



消費者生活行政について

曾我修議員は、5月に門川市長に提出した「新消費者政策研究報告書」で提起した5つの提案を踏まえ、消費生活基本計画への具体的な取り組みを訴え、門川市長から庁内横断的推進体制を強化するとの答弁がありました。

特別支援学校の教育環境整備について

京都市内とくに伏見区在住の障がいのある児童・生徒が宇治市などの府

曾我 修議員のおもな質問項目

- 消費者生活行政について
- 特別支援学校の教育環境整備について
- 外国人観光客の誘致について
- 介護保険制度における施設整備について
- 新景観政策について
- 新たな財源を確保し淀城跡公園の再整備推進を要望

外国人観光客の誘致について

また、京都を訪れる外国人観光客への「おもてなし」を充実し、富裕層をターゲットにした多彩な誘致活動を主張。市長は京都の伝統産業振興にも良い影響を与えると賛同し、リニア新幹線やヘリコプター等の活用に意欲を示しました。



ひらやま よしかず  
平山賀一 議員「西京区」

市債残高の削減について

平山賀一議員は、京都市の財政再建のために、2兆円近い市債残高の抑制・削減について中期的な方針と計画を次期京都市基本計画の柱とすべきだと訴えました。門川市長からは今後の生産年齢人口の減少や金利上昇リスクを考慮すると、市債残高削減は極めて重要であり、中期的な方針を策定すると答弁がありました。

介護サービスの充実について

地域での訪問対話運動や総点検運動を通じて、介護をするご家族の負担軽減が求められていること、認知症の方の介護には24時間のサポート体制が必要なことを訴えました。副市長は、次期「京都市長寿すこやかプラン」に支援体制を盛り込んでいくと答弁しました。

環境にやさしいライフスタイルの転換について

次いで、京都市の温室



平山賀一議員のおもな質問項目

- 市債残高の削減について
- 財政情報の説明責任について
- コンプライアンス強化について
- 環境にやさしいライフスタイルについて
- 認知症サポート体制について

Report!

市長総括質疑レポート

平成21年度の京都市決算を審査する決算委員会などで、代表の議員が門川市長と二問一答の質疑をおこないました。

公営企業特別委員会 10月18日

大道義知議員(南区) 駅ナカビジネス工事契約のあり方と、市立病院の認知行動療法の具体化を提言。

久保勝信議員(山科区) 地下鉄東西線の「駅別戦略」の策定や、山科醍醐版の1日乗車券の一本化を訴える。

曾我 修議員(伏見区) 病院の独法化にあたり、「難病外来」の創設と、名称を「市民病院」とするよう提言。

普通予算特別委員会 10月20日

井上教子議員(下京区) ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成を要望。

日置文章議員(北区)

基礎自治体優先の原則に則った地域主権改革のため、「特別自治市」実現を提言。

津田早苗議員(伏見区)

住宅用太陽光発電の普及促進と、子ども・若者相談の総合的支援を要望。

吉田孝雄議員(上京区)

うつ対策の充実、障がい者就労支援、ひとり親家庭支援の拡充を提案。



京都商店連盟との政策懇談会



消費者政策を市長に提出

# 安心安全の 住みよい まちづくりのために

公明党京都市議員団は、今年度10団体を超える各種団体と政策懇談会を開催しました。6月11日に西陣織工業組合、9月1日には京都府保険医協会、10月19日に京都商店連盟の皆さんと意見交換。貴重なご意見をいただきました。

5月14日は、「新消費者政策研究—だれもが安心して暮らせる消費者市民都市・京都を目指して—」を市長に提出。5点にわたる具体策を提言しました。

**中京区**



木村 力

①2期 ②経済総務委員会

**左京区**



柴田 章喜

①4期②交通水道委員会③副団長

**上京区**



吉田 孝雄

①1期②教育福祉委員会③政調副会長

**北区**



日置 文章

①5期 ②経済総務委員会

**右京区**



湯浅 光彦

①2期②まちづくり消防委員会③政調会長

**南区**



大道 義知

①5期 ②交通水道委員会 ③団長

**下京区**



井上 教子

①3期②まちづくり消防委員会③副団長

**山科区**



久保 勝信

①2期②交通水道委員会③幹事

**伏見区**



津田 早苗

①2期②くらし環境委員会③政調副会長

**伏見区**



曽我 修

①2期 ②交通水道委員会 ③幹事

**伏見区**



谷口 弘昌

①5期②教育福祉委員会③代表幹事

**西京区**



平山 賀一

①1期②くらし環境委員会③政調事務局長

公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職

**京都いつでもコール**  
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。  
午前8時～午後9時(年中無休)

みなここ TEL:075(661)3755 FAX:075(661)5855  
ごようはここ

●電子メール(以下のホームページから)  
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>  
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを  
公明党京都市議員団にお寄せください

● TEL: 075(222)3732  
● FAX: 075(212)3608  
● ホームページ: [公明党京都市会](#)

